

Sasebo Kyosai Hospital Communication Paper

きょううさいだより

谷川寛男様 撮影

理 念

博愛の精神
人の和
自己研鑽

目 標

1. 私達は、地域のみなさんのニーズに応え、信頼してもらえる医療を目指します。
2. 私達は、他の医療機関と共に、地域のみなさんの診療と健康増進に努めます。
3. 私達は、新しい医学、医療の知識と情報を取り入れ、常に自己啓発に努めます。
4. 私達は、それぞれが自己の責任を自覚し、安全な診療を目指します。
5. 私達は、病める人の苦しみや喜びを分からち合える心をもって診療に努めます。

I N D E X

● 日露戦争当時の佐世保／合同カンファランスについて	p.1
● 8月の市民公開講座のご案内／手術室紹介	p.2
● 診療活動の現況～呼吸器内科～	p.3
● 新医長・新採用医師の紹介／	p.5
● OBに聞く～神谷雄二先生～／TOPICS／編集後記	p.6
● 外来診療担当表	p.7



日露戦争当時の佐世保

日本の将来の命運をかけた日露戦争は、明治38年に終わりました。今から丁度100年前のことであり、本年は記念すべき年であります。

日清戦争、日露戦争の前線基地としての役割を担ったのが佐世保でした。明治35年に市制が施行され、予想される日露戦争に備えて佐世保市は急速に人口が増加しました。明治36年10月に佐世保海軍造船所が佐世保海軍工廠と改称されました。この海軍工廠の職員とその家族のためにできた「佐世保海軍工廠職工共済会病院」が当院の前身です。しかし、日露戦争当時はまだ用地を探していた頃であり、病院が設立されたのは明治44年でした。

明治37年2月5日に日本連合艦隊は佐世保港を出港し、2月11日に日露戦争が始まりました。同年11月に日本陸軍はロシア軍が守る旅順の203高地を陥落させましたが、世界に誇るロシアのバルチック艦隊がヨーロッパからアフリカの喜望峰を回って日本に向かっていました。日本艦隊がロシア艦隊に敗れれば、日本の将来はみじめなものになると思われていました。

翌年5月27日に対馬沖で日本艦隊はバルチック艦隊と大海戦を行い、歴史上類を見ないほどの勝利を収めました。この海戦の大砲の響きが佐世保市の鵜戸越にも聞こえ、福岡市では戸や障子がビリビリ振動するほどであったとのことです。これにより日露戦争の帰結は決まりましたが、正式に終了したのは同年9月5日のポーツマス講和会議でした。

海戦後、日本艦隊は佐世保港に帰ってきました。海戦により負傷したバルチック艦隊司令長官ロジェストウェンスキイ中将是佐世保海軍病院に入院し、それを見舞った東郷平八郎司令長官の話は感動を呼び、海外まで有名になりました。

日露戦争後、日本各地で凱旋歓迎会や戦勝祝賀会が行われ、11月に佐世保市で行われた凱旋艦隊歓迎会式典の参列者は三千余名に及んだということです。それから100年、第2次世界大戦の敗戦から60年後の現在、日本と世界の歴史において画期的な出来事であった日露戦争を振り返ってみて下さい。

合同カンファランスについて

医局長 林田一洋

インスリン抵抗性と最近の糖尿病の薬物療法

○演者 内科医長 松見里美 ○平成17年6月14日

増加の一途をたどる糖尿病の病態としてインスリン抵抗性が最近では注目されています。糖尿病の薬物療法は1950年代から「ダオニール」や「グリミクロン」等のスルホニルウレア剤しか使用できませんでしたが、最近10年間でインスリン抵抗性改善を目的として糖尿病治療薬が多く登場しました。血糖値を下げれば糖尿病による細小血管障害は防げますが、薬物療法でインスリンを増やせば大血管障害は進行します。必要以上にインスリンを増やさずに糖尿病をコントロールするためにインスリン抵抗性改善薬を上手に使用することが重要になりました。

最新の薬物療法を具体的に説明するとともに、特に肥満の糖尿病患者ではインスリン抵抗性の存在が想定されることから、スルホニルウレア剤やインスリン剤を漫然と使用することは検討を要することを強調しました。

8月の市民公開講座のご案内

第5回佐世保共済病院市民公開講座

テーマ 「生活習慣病から護るために」

日 時 平成17年8月6日(土) 13:00~17:00 場 所 佐世保共済病院 北館8階 大講堂

1. 「糖尿病の予防と治療」

新小倉病院 院長 桶田 俊光 先生
○座長／佐世保共済病院 副院長 木寺 義郎

2. 「肥満症—その疾患概念と治療における新たな展開」

大分大学 名誉教授 坂田 利家 先生
○座長／佐世保共済病院 院長 福井 仁士

3. 「生活習慣病と脳卒中」

九州大学 内科助教授 井林 雪郎 先生
○座長／佐世保共済病院 診療部長 山川 勇造

4. 「心臓病にかからないために、かかった時のために」

九州大学 循環器内科教授 砂川 賢二 先生
○座長／佐世保共済病院 内科部長 林田 一洋

手術室紹介

手術室看護師長 山田 陽子

当中央手術室は病院の最上8階に位置しオペルームは7室、そのうち1室はクリーンルームで人工関節置換術などを行っています。

また、他の手術室においては、脳神経外科・外科・胸部外科・産婦人科・整形外科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科・口腔外科・麻酔科・内科が1日平均12~15件の手術を行っており、多い時には20件を超す事もあって毎日走りまわっています。

午前中はもとより午後からの手術室はスタッフはもちろん、医師・麻酔科医・器械関係の業者などが往来しています。近年女医さんも増えスタッフと女性医師と間違うことがないように、青色の術衣を看護師、灰色を女医、薄緑色は看護補助者と服の色で役割がわかるようにしています。

青装束の看護師19名、看護補助者3名、スタッフの平均年齢36歳、若干高めでしょうか?手術室のイメージは?荒々しいとか、恐そだと思われがちですが、スタッフ間はいたって和気あいあい、そろっての昼食時など、それはにぎやかなこと。しかし業務となると、緊張感にあふれ、スムーズに手術が遂行できるよう医師への介助、また患者様には少しでも不安軽減につながるよう、日々努力と勉強に頑張っております。



前列左から3人目 山田看護師長



はじめに

当院における呼吸器内科診療は、平成16年4月1日に私が佐賀大学呼吸器内科から着任し、同年5月には九州大学呼吸器科よりスタッフ一名を派遣いただき、現在2名体制で行っております。一年間の常勤医不在によって一昨年は受診患者数が減少しましたが、昨年度からはむしろ以前より充実した体制で診療しております。

【当科における診療内容】

呼吸器内科では、細菌・真菌などが原因となる呼吸器感染症、肺癌をはじめとした胸部の悪性腫瘍、間質性肺炎・好酸球性肺炎等のびまん性肺疾患、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、気胸、気管支喘息、気管支拡張症、呼吸不全、睡眠時無呼吸症候群、禁煙外来等非常に多岐にわたる疾患を対象とした診療を行っております。また呼吸器外科との連携によって手術が必要な場合や、その他集学的治療が必要な症例への対応も可能となっております。

【呼吸器疾患における入院診療の現況】

平成16年度、呼吸器内科および内科全体に呼吸器疾患にて入院された患者数は延べ323名でした。これらについてその現況を報告いたします。

呼吸器感染症:肺炎・気管支炎をはじめとする感染性疾患は124名の入院があり、原因疾患として最も高い割合を占めました。その中で呼吸器内科医が主治医となったものが65名(52.4%)で、すべての入院患者を担当することは不可能でした。もちろんこの中には、主治医とはならずともコンサルトにて対応した例も多くあります。比較的稀な疾患としては肺クリプトコッカス症が一例ありました。

呼吸器悪性腫瘍:肺癌をはじめとする悪性腫瘍の患者は延べ63名の入院がありました。その中で呼吸器科にて62名を担当しました。大学病院などでは入院患者の多くを悪性腫瘍が占めるところですが、やはり当院は一次から三次すべてをカバーする病院ですので、感染症に次ぐ規模でした。行った治療としては、手術11名、化学療法21名、放射線療法7名、積極的な加療が不可能な支持療法(Best supportive care)20名でした。比較的稀な疾患としては悪性中皮腫が一例ありました。

びまん性肺疾患:間質性肺炎をはじめとしたびまん性肺疾患の患者は延べ29名の入院がありました。その中で呼吸器内科にて27名を担当しました。間質性肺炎が最も多く20名、その他特発性器質化肺炎(BOOP) 3名、慢性好酸球性肺炎2名等でした。稀な疾患としては、餅を喉に詰まらせたことによる陰圧性肺水腫と考えられる症例が一例ありました。



気管支ファイバー施行中の古山医師

その他の疾患:慢性閉塞性肺疾患(COPD)はその多くに喫煙が関与しているいわゆる生活習慣病ですが、感染症合併による急性増悪等にて22名の入院がありました。気胸は特発性・外傷性・二次性を含めて16名の入院があり、全てを呼吸器内科で担当しました。多くは内科的に対応可能でしたが、2例は手術を行いました。気管支喘息に関しては、パウダー式吸入薬の導入以降コントロール可能なケースが増加しました。日頃きちんと薬剤を使用していれば入院が必要となる状態が減らすことのできる疾患であり、入院患者数も18名と少なくなっています。そのほか睡眠時無呼吸症候群は28名に簡易検査を外来にて施行し、精密検査および持続的陽圧呼吸療法(CPAP)導入目的に14名が入院、その全てを呼吸器内科が担当いたしました。その中で12名が中等症以上であり、CPAPを導入しました。

【外来体制】

現在、月～金の週5日間午前中に藤澤、古山が外来を担当しております。ご紹介患者様の受け入れはこの時間帯に行っております。もちろん、緊急の場合は随時対応しております。睡眠時無呼吸症候群を疑わせる場合は通常の外来時間帯にて毎日、禁煙外来は火・木曜日午後に完全予約制にて藤澤が行っております。

【おわりに】

呼吸器内科もスタッフをはじめとして診療体制を少しづつ充実して参りました。これからも地域医療に少しでもより多くの貢献を目指して行きたいと存じます。皆様の暖かいご協力を願い申し上げます。

■呼吸器疾患入院患者症例(平成16年度)

	症例	人數	%	
呼吸器感染症	肺炎・肺化膿症	84	124	38.4
	気管支炎	32		
	その他	8		
悪性新生物	非小細胞性	57	63	19.5
	小細胞性	3		
	その他	3		
びまん性肺疾患	間質性肺炎	20	29	9.0
	BOOP	3		
	慢性好酸球性肺炎	2		
	その他	4		
	慢性閉塞性肺疾患(COPD)	22		6.8
	気管支喘息	18		5.6
	気胸	16		5.0
	睡眠時無呼吸症候群	14		4.3
	気管支拡張症	10		3.1
	その他	27		8.4

◎ 診療案内

	月	火	水	木	金
藤澤 伸光	○		○		○
古山 和人		○		○	

※診察日は全て午前中です。

	月	火	水	木	金
禁煙外来(午後)		○		○	

※予約制となっています。



写真左から古山医師・藤澤医長・熊谷研修医

新医長・新採用医師の紹介

①出身大学・卒業年 ②在籍医局 ③専門領域 ④出身地
⑤趣味・一言



[歯科口腔外科医長] 川村 英司

本年4月より赴任致しました。
歯科と一口に言っても、虫歯、歯肉の炎症、歯並び、子供の治療、障害者の方の治療、良い腫瘍、悪い腫瘍、親不知を抜いたり、抜いた親不知を移植したり、人工歯根を植えたり、突然口が開かなくなったり、下あごの形を変えて歯並びを良くしたり、骨を折って歯並びが変わったり、もう既に全部歯がなかつたり、変なことを言う人がいたり(舌からキノコが生えました…)と、外来に色々な患者さんが来られますが、わたくしは今まで外科治療を主に学んで来ましたので、この地域の歯科医院と連携を取り、外科的処置を主に担当させて頂きます。どうぞ宜しくお願いします。

- 出身地 三重県松阪市
- 出身大学 九州大学歯学部
- 卒業年度 平成 7年
- 専門領域 歯科口腔外科

- 主な職歴 平成 7年 九州大学歯学部第2口腔外科
平成15年 済生会松阪総合病院歯科口腔外科
平成16年 九州大学病院歯科医療センター
- 所属学会 日本口腔外科学会



[泌尿器科]
高橋 元

- ①長崎大学 H7
- ②長崎大学 泌尿器科
- ③泌尿器科一般
- ④千葉県
- ⑤佐世保地区に住むのは初めてですが、非常に新鮮に感じます。



[整形外科]
いのうえ さんしろう
井上三四郎

- ①鹿児島大学 H11
- ②九州大学 整形外科
- ③整形外科一般
- ④福岡県
- ⑤スポーツ観戦が好きです。
一緒に行きましょう。



[泌尿器科]
もり けんいち
森 健一

- ①大分医科大学 H11
- ②長崎大学 泌尿器科
- ③泌尿器科(排尿機能)
- ④佐世保市
- ⑤サッカー好きで、小学校からやっていますが、今は身体が動きません。リハビリ程度に始めようと思っていますので、誘って下さい。



[内科]
ふるやま かずと
古山 和人

- ①九州大学 H12
- ②九州大学 呼吸器内科
- ③呼吸器内科
- ④福岡県
- ⑤マイペースな方ですので、至らない所があれば宜しく御指導下さい。



[整形外科]
なかむら てつろう
中村 哲朗

- ①島根医科大学 H12
- ②九州大学 整形外科
- ③整形外科一般
- ④福岡県
- ⑤ドライブ。スポーツ観戦。
一緒に飲みに行きましょう。



[整形外科]
おかだ ふみ
岡田 文

- ①島根医科大学 H13
- ②九州大学 整形外科
- ③整形外科一般
- ④福岡県
- ⑤大きな声とスマイルをモットーに運動器のお悩みに対処いたします。



[外科]
あかし げん
赤須 玄

- ①久留米大学 H13
- ②久留米大学 外科
- ③一般外科
- ④宮崎県
- ⑤趣味は胃薬のんで飲酒すること。



[小児科]
はすわ ともゆき
蓮把 朋之

- ①長崎大学 H14
- ②長崎大学 小児科
- ③小児科一般 ④佐賀県
- ⑤大学では(準硬式)野球部に所属していました。最近はボールを握ることもなく、ほとんど素人然になってしましましたが、機会があれば気軽に声をかけて下さい。



[産婦人科]
やまぐち あきこ
山口 明子

- ①鹿児島大学 H14
- ②九州大学 産婦人科
- ③産婦人科一般
- ④福岡県
- ⑤趣味はテニスです。
テニスされている方いたらぜひ誘って下さい。



[外科]
さとう としひろ
佐藤 寿洋

- ①久留米大学 H14
- ②久留米大学 外科
- ③一般外科
- ④長崎県
- ⑤釣りです。皆で行きましょう。



[内科]
ありま せいいちろう
有馬 誠一郎

- ①佐賀医科大学 H14
- ②佐賀医科大学 消化器内科
- ③内科(消化器)
- ④鹿児島県
- ⑤趣味はダイビング、スノーボード。
一人でも多くの患者さんに愛を注げるようがんばります!



[皮膚科]
おがた みほ
尾形 美穂

- ①佐賀医科大学 H14
- ②佐賀医科大学 皮膚科
- ③皮膚科一般
- ④佐賀県
- ⑤趣味はスキーバダイビングです。
水中でイルカに逢うのが夢です。



[整形外科]
くろせ けい
黒瀬 圭

- ①熊本大学 H15
- ②九州大学 整形外科
- ③整形外科一般
- ④福岡県
- ⑤バスケットボールのクラブ等
あれば仲間に入れもらえないでどうか?

OBに聞く

病診連携の中核を支えて下さっているOBに取材させて頂く
シリーズの第2回は、当院放射線科の創設者 神谷雄二先生
に御登場頂きます。

Q 佐世保共済病院との関わりは？

A 昭和51年、私が久留米大学放射線科教室の医局長時代に、当時の共済病院 渡辺院長から放射線科設立の依頼があり、自ら放射線科準備室の担当として週2回通うようになったのが最初の出会いです。その後53年から現在地に開業する55年迄、放射線科医長として勤務しました。

Q 在籍中の印象は？

A それまで各地の県立病院などに勤めた事がありましたが、組合が強かったり、お役所的だったりと、違和感を感じることがありました。その点この病院は「共済家族」と言うらいで、皆協力的で大変働き易い環境でした。

Q 神谷医院の特色は？

A 胃腸科を中心とした一次病院としての特徴を生かして、エコーやファイバー検査などを中心に診療しています。

今後は介護と組み合わせた地域密着型の運営が必要と思い当院3階フロアと矢峰地区にグループホームを2ヶ所設立しました。



神谷医院

神谷 雄二 先生

所在地)佐世保市皆瀬町270番地12

T E L 0956-49-2017

F A X 0956-49-2029



神谷院長とスタッフの皆さん

Q 当院への御注文などは？

A 以前は紹介患者さんの返書が遅かったりした事もありましたが、最近は早くなり、途中で経過報告もあって大変満足しています。ただ放射線科医師達が、読影のレポート書きなどで超多忙の様子なのが一寸心配です。

相変わらず大きな声でバイタリティあふれる神谷先生、当院のスタッフにまで暖かい御心遣いを頂き誠に有難うございます。

(インタビュー:編集委員長 萩原博嗣)

Topics

「シーカヤックで九十九島探検！」

麻酔科医長 深野 拓

アウトドア部の深野です。夏のアウトドアスポーツと言えばシーカヤックでしょう。カヤックとはエスキモーが海獣狩猟目的に使用していた「獸皮船」“QUAJA”(クアヤ)を語源としています。クアヤとは「男の舟」という意味で、海水が舟の中に入らないよう船体上部にカバーがされていました。このようにクローズド・デッキタイプをカヤック、オープン・デッキタイプをカヌーと使い分ける事が多いようです。ちなみに「女の舟」を

”UMIAK”(ウミアック)といいます。(パールシーにありますね!)

大小様々な無人島と美しい入江が点在する九十九島は日本有数のシーカヤックフィールドとして有名です。島の密度日本一を誇る島々が天然の防波堤となり、まるで湖のような静けさがあたりに漂います。聞こえてくるのは風の囁きと海水をかくパドルの音だけ。無人島に上陸しコーヒーをいれて夕陽に紅く染まる海を見ていると、口煩い上司、突き上げ厳しい部下、居場所の無い家庭の事等どうでもよくなります。朝目覚めると佐世保市の花カノコユリが優しく迎えてくれるでしょう。さあ、シーカヤックで九十九島探検に行きましょう。



シーカヤックを楽しむ深野医長親子

編集後記

丁度、4月から6月にかけては、当院の医師の異動の時期となっております。『新採用医師の紹介』欄に掲載していますが、今回は大量に14名の医師が加わりました。梅雨時期のジメジメした空気をフレッシュな顔ぶれで吹き飛ばしてくれることでしょう。

編集委員 畑 宏明

佐世保共済病院

外来診療担当表

平成17年6月2日現在

科	役職	医師名	月		火		水		木		金		備考(専門分野・特徴など)
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
内 科	部長	林田一洋			●		●				●		肝臓・消化器疾患
	医長	佐藤浩信			●		●				●		消化器疾患・膠原病
	"	川崎千之	●		●				●				血液疾患
	"	松見里美	●				●				●		消化器疾患
	"	野口誠司		●					●		●		肝臓・胆嚢・脾臓疾患・消化器疾患
	"	金子武生	●				●				●		循環器疾患
	"	藤澤伸光	●				●				●		呼吸器疾患
	"	大塚容子	●						●		●		腎臓疾患
	医員	村上謹士郎		●			●		●		●		循環器疾患
	"	久間文明		●		●		●					循環器疾患
	"	原口総一郎		●		●							腎臓疾患
	"	松永圭司	●						●				消化器疾患
	"	古山和人		●				●					呼吸器疾患
	"	有馬誠一郎	●					●					消化器疾患
	糖尿病教室					●		●		●		●	※詳細は内科外来へお尋ね下さい。
小児科	部長	岡尚記	●		●						●		
	医長	深堀一成	●				●		●				小児一般
	医員	白川利彦	▲				●				●		小児アレルギー疾患
	"	蓮把朋之		●				●			▲		気管支喘息
	乳児健診					●							※▲は未熟児回診後の診療のため、開始時間が遅れます。
	慢性外来・神経外来							●					火曜PM1:00~
外 科	喘息外来												水曜PM2:00~※神経外来は第2水曜日のみ(要予約)
	外科顧問												木曜PM2:00~
	部長	松永章							●				内視鏡下外科
	部長	江里口直文	(●)				●				●		※月曜は新患のみ受付
	医長	大堂雅晴			●				●				一般外科・消化器外科
	医員	澤田健太郎	●				●						血管外科
	"	川畑方博			●						●		一般外科・腹部エコー
	"	原田洋			●						●		一般外科・消化器・乳腺外科
脳神経外 科	"	岩熊伸高	●				●						※月曜～金曜の午後は手術
	"	赤須玄	●										※乳癌検診は、10時までに受付を行って下さい。
	"	佐藤寿洋						●					※詳細は外科外来へお尋ね下さい。
神経内 科	院長	福井仁士	●				●						脳腫瘍・脳血管障害・頭部外傷・脊椎外科
	診療部長	山川勇造						●		●			小児の神経外科・顔面痙攣・三叉神経痛の外科手術
	医長	濱田康宏	●					●					手術・顔面痙攣のボツリヌス注射療法
整形外 科	医員	高倉由佳									●		神経内科疾患一般※第2・第4金曜日のみ
	部長	萩原博嗣	●				●				●		骨関節疾患全般
	医長	久我尚之			●		●		●				・股・膝関節の関節形成術・人工関節置換術
	医員	寺本全男	●						●		●		・膝・肩・手・肘の鏡視下手術
	"	井上三四郎			●				●		●		・脊椎外科・腰部疾患手術
	"	中村哲郎	●		●						●		・肩・手の外科
	"	岡田文	●		●		●						・リウマチ・スポーツ整形外科・足の外科など
皮膚科	医長	平島徳幸	●	●	●		●		●	●	●		・湿疹・虫刺症・アレルギー性皮膚炎
	医員	尾形美穂	●	●	●		●		●	●	●		・皮膚感染症・爪疾患・毛疾患
泌尿器科													・皮膚小手術(紛瘤・陷入爪など)(火・水・金)
	部長	山田潤	●				●				●		尿路結石・尿路腫瘍・前立腺疾患
	医長	森光浩	●						●		●		体外衝撃波結石破碎術(ESWL)
	医員	高橋元			●		●						尿失禁・尿路感染
産婦人科	"	森健一		●					●				
	副院長	木寺義郎	●				●				●		産科・周産期医療・不妊症・内分泌疾患
	医長	鶴地伸宏	●		■		●		●				体外受精・胚移植術・腹腔鏡下手術
	"	内山章	■		●		●				●		更年期・婦人科疾患
	医員	新谷可伸		●		■		●■		●			※●:婦人科診療日 ■:産科診療日
眼 科	"	山口明子	●		●				●		●		
	医長	小西健一	●		●		●	●	●	●			白内障手術・緑内障手術・硝子体手術・網膜剥離手術
	医員	中森玄司	●		●		●	●	●	●			手術・眼瞼下垂手術・翼状片手術・レーザー光凝固術など※水曜の午後は術前検査と特殊再来(要連絡)
耳 鼻 咽喉科	医長	佐藤公治	●		●		●		●	●	●		アレルギー性鼻炎のレーザー治療
	医員	井口貴史	●	●	●		●		●	●	●		小児の耳鼻咽喉科疾患
放射線科													耳・鼻・咽喉頭・頸部などの手術
	医長	野々下政昭	●								●		MRI、CT、RI、血管造影、超音波検査
	医員	岩本良二							●				消化管造影、内視鏡検査
	"	吉田成吾			●								内視鏡下手術(ポリープ切除)
麻酔科	"	久能由記子				●							
	医長	深野拓	●			●		●					※月～金午前ペイン外来
	医員	吉村真紀			●						●		※月～金午後は手術麻酔
	"	松本周平			●				●				
歯 科 口腔外 科	"	別府幸岐	●								●		
	医長	川村英司	●	●	●	●	●	●	●	●	●		歯科・口腔外科(紹介患者のみ新患受付)